

山田小学校だより (Metamorphose)



文責 校長 谷川 晴峰

豪雨・台風・地震, 災害大国 日本!

平成という年号になって30年が過ぎました。来年の途中から新しい呼び方変わるそうですが、政府は徹底して情報漏れを防いでいるようです。「平成」の前は「昭和」でしたね。様々な都市伝説もありますが実は「光文」という名前が用意されていたそうです。この情報が新聞社に漏れ、急遽「昭和」に差し替えられたとも言われています。

この「平成」という時代・・・私たちは幸せだったのか?それとも不幸だったのか?大局的に見てみると私は、「極めて不幸な時代」だったと思います。バブル景気崩壊後、日本の経済成長は止まり、繁栄し続けた「昭和」に比べると、衰退の一途をたどった30年ではなかったかと思えます。しかも、災害の多い時代だったと断言できます。紙面の都合上、全てを書くことはできませんが、今年だけでも6月の「大阪府北部地震」、7月の「豪雨災害」、そして台風21号による甚大な被害、特に冠水した「関西国際空港」の映像は、想像を絶するものでした。そこに追い打ちをかけるように、北海道で発生した震度6強の地震・・・。

平らかに成る時代ではなく、夢も希望も無い時間が流れていったような気がします。教育現場も然りです。山田小学校には無縁の話ですが、一般論として、学校も教職員も(特に管理職)は疲弊しています。様々な重圧が学校現場を直撃しています。これから3年・5年・10年後の時代を予想することさえ、困難であり、気が重くなります。暗い話になりましたが、本校の子供たちが直面する時代(次代)は、格差社会が更に進み、極度の貧困層が大量発生します。以前も書きましたが、2025年問題が子供たちを襲います。

自然災害から身を守るのは勿論ですが、社会的災害や政治的災害から身を守ることも必要なようです。

9月の保健室掲示板から・・・(爪と睡眠)について



山田小学校の校内には、掲示物がたくさんあります。しかも極めて質が高く、子供たちの興味や関心を惹きつけています。上の写真は、保健室横と校長室前の掲示板を撮影したものです。今月は、「爪と睡眠」をテーマにしています。クイズ形式で質問が出され、答をめくるといった手法が取り入れられています。養護教諭の眞辺先生は、いつも工夫を凝らした掲示物作成や、保健便りの発行に努めています。学力向上の基盤は、心身の健康にあります。子供たちの爪の様子は如何ですか?じっくり見てあげてください!